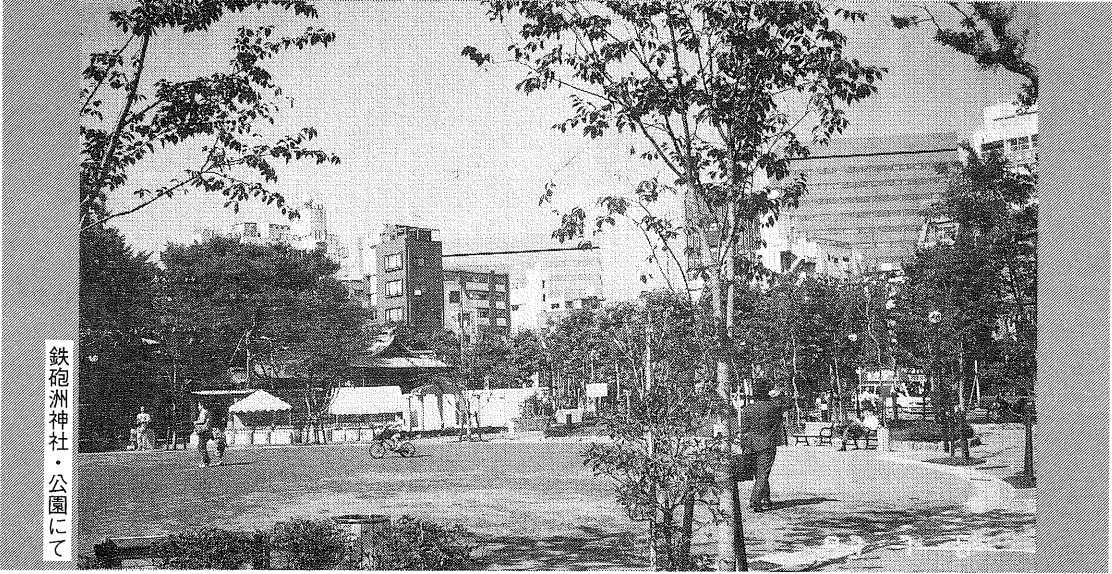


京橋の印刷

7月20日 1995・No.92

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855
FAX 3297-3790

発行人
荒川龍治



鉄砲洲神社・公園にて

吉宗考

副支部長 山崎 隆二

NHKテレビの「徳川吉宗」を機会ある毎に見ておりますので、過日ふと思いつて上野は東叡山寛永寺の墓所に四代家綱(厳有院)、五代綱吉(常憲院)、十五代慶喜の墓参に行つてまいりました。吉宗(有徳院)は八代將軍であります。十五代綱吉と合葬されているとのことです。墓前までは入れませんので詳しいことは分かりませんが、同じ墓所にそれぞれの石塔がたっているのではないかと思われます。

さて、吉宗の治世は二十八年間におよび四代、七代と続いた文治政治を家康(初代Ⅱ安国院)、秀忠(二代Ⅱ台徳院)、家光(三代Ⅱ大猷院)の時代の武断政治にもどそうとしました。他方庶民の意見も聞こうと目安箱を設置しその結果、町火消の組織ができたり、火除け地を設け火事と喧嘩は江戸の華といわれた火災の際の類焼を防ごうとし、さらに赤髭で有名な小石川養生所(小石川植物園がその跡地)をも造りました。(関東大震災後の後藤新平の再開発計画に似ていますⅡ公立学校の側に公園を併設、今回の神戸大震災では公園が火除け地として避難所となった)

文化の面では実学(実際に役に立つ学問で理想のみを追求しない)を奨励し医学、哲学、本草学(植物・薬物を研究し医薬にするのを目的とした学問)を学ばせ一部の書籍を輸入したとも言われています。

こうした面をみていると吉宗は名君ですが、本当にその政治生命をかけて努力したのは享保の改革をはじめとする幕府財政の立て直しでしょう。当時の資産は何石取りと言われるようにお米ですが、吉宗は米の値段を上げようと色々な政策を採りますが、結局は失敗して財政立て直しは水泡と消えます。

ひるがえって現代の政府の諸政策を見てみますと、急激な円高等の諸事情もあり、特に地価・株価の下落はいつころに歯止めがかかりません。世間では価格破壊という言葉が日常茶飯事に使われ、業者は我先に安売りに奔走しております。このデフレ状態を何とかしてやらねえと不幸な第二次大戦突入のきっかけとなった昭和恐慌の再来にならないとも限りません。資産デフレ阻止の強硬な対策政策が急務となると思います。

吉宗は徳川家と徳川御三家との話し合いで選出されましたが、時あたかも参院選のおり我々個人の一票はより大切に使用したいものです。

東印工組京橋支部通常総会

京橋支部の通常総会が今年は早々と、4月21日(金)、18時より築地スエヒロ別館で行われました。定刻6時に中島副支部長の司会で始まり、開会のことを石井副支部長が述べた後、荒川支部長が次のように挨拶をしました。

「本日は東印工組京橋支部通常総会に大勢お集まり戴き有難うございます。又ご来賓の方々にはご多忙の所をご来席戴き誠に有難うございます。日頃は支部員の皆様方には、本部支部の運営につきまして、格段のご高配を戴きまして、改めて御礼を申し上げます。特に今年1月17日の阪神大震災に対しまして、義援金を急拠お願い致しました処、全印工連で、1億2百万円、東印工組が、その内約3千5百万円、当京橋支部では約390万円もご協力戴きました。当初目標額の倍以上の義援金を皆様から戴きました事を改めて御礼申し上げます。それに致しまして我々を取り巻く環境は、社会変革のせいか厳しいものがあります。又、我々業界の中も技術革新が激しく、日を追う毎に進んでおります。このような中で本部ではこれに対応すべく、いろいろな施策を行っている事は、既にご存知だと思いますが、特に東印工組の運営基盤を強固にするのに、平成7年度に新しく賦課金の算定基準



の見直しをする予定です。新基準は5月24日の総代会に於て、皆様の代議員である総代の方々への承認を得て、組合運営をより強固なものにしようという事です。それとすでにご承知の通り、商法改正による最低資本金制度の発足や、労基法改正による労働時間の短縮、それに社会保険の改正、その他諸々の我々を取巻く環境は厳しく変化しております。又一般的に従業員の高齢化等は事業運営に厳しいものがあります。当支部ではこれに対応して、すでに皆様にご案内もいたしておりますが、野村理事長の提唱しております「組合は共に栄える情報の発信地」というテーマに沿って、その激しい技術革新に対しまして、一昨年の12月には、「電子化と高付加価値化による豊かさ」と生産性の「ハモニー」というテーマに沿った構造改善事業を進めております。特に次年度は支部に於ては、技術研修や労基法改正による労働時間の短縮の研修会を開催する事にしています。

そういう訳で私は平成6年度総会で支部長職を承りました時、心・技・体という事で、心は支部の長い伝統を継承していく事で、今年には技術というものを中心に皆様と共に、我々に迫り来る技術革新の中で充分理解し、これを如何に仕事の中で、個々の事業所の中に於て情報発展を図るかという事に重点を置いて参りたいと思います。しかし当支部の運営については、諸般の情勢で厳しくなっております。支部創立70周年を一昨行い、支部の運営組織を根本的に見直す時期に来ているのではないかと思っています。

す。この点に関しては皆様のご意見を承りながら、執行部で進めて参りたいと思います。支部と致しましては、本部が今年度の目標として、「守り」より、「攻め」に重点を置いて印刷業界の社会的地位の向上、そして適正利潤を確保しようという高い目標を掲げています。それに応えて、長い伝統を持った支部として、志を高く持って支部の運営に努力して参りたいと思います。皆様の力強いご支援とご協力を戴きたいと思えます。最後に皆様方の御健勝と皆様方の企業の発展をお祈り致しまして、私の挨拶と致します。有難うございました。」(拍手)

続いて、司会の中島副支部長が、議長、副議長の選出について問い掛け、司会者に一任という声で、議長に、(株)モリイチ・山口順治氏、副議長に、(有)青柳印刷所・青柳晴男氏が選出されました。両氏の自己紹介のあと、早速、議題に移り、第1号議案の平成6年度事業報告が十文字副支部長により、読みあげられ拍手で承認されました。次に第2号議案、平成6年度収支決算報告が関根副支部長により、説明された後、質疑応答で、湊地区中山英男氏が、支部報印刷費が前年の70万円もの予算に対して、今年15万円と異常に少ない理由について質問があり、財政逼迫の折から、従来の12頁を8頁にする等努力して行くが、最終的には予算額を超過しても、第3四半期の賦課金改定等で何とか賄える予定であると答えられた。続いて、同予算案の監査報告が、木島・宇津木両監査により報告されて、拍手の内に承認されました。

次に、第3号議案、平成7年度事業計画(案)が十文字副支部長により説明、又第4号議案の平成7年度収支予算(案)が関根副支部長により、それぞれ拍手の内に、承認可決されました。議事の最後に第5号議案として、次期役員選考委員の推薦について、荒川支部長から、次の10名の方の名前があげられました。まず顧問から、石沢・小宮山顧問、相談役から小葉・神林相談役、及び本部副理事長の田島相談役と同じく本部常務理事の小山相談役、そして篠倉常務理事、そして執行部から、荒川支部長、中島副支部長、山内地区長の10氏が拍手の内に、承認されました。

これで議事は全て終了し、山口議長、青柳副議長が拍手の内に退任した後、来賓の挨拶が行われて、まず東印工組副理事長・田島一弥氏が次のように挨拶されました。



「只今、ご紹介戴きましたように野村理事長が拠所ない事情で本日は来られませんので、代理で私がお挨拶させていただきます。野村理事長が呉々も、よろしく伝えて欲しいと申されています。只今は総会が滞りなく終了しました事を衷心より、お喜び申し上げます。平素は本部運営にご協力戴きまして有難く、御礼申し上げます。先程も支部長のお話しにもありましたが、阪神大震災による義援金拠出に際しましては、皆様の大変暖いご好意を頂戴しました事を御礼申し上げます。先日も全印工連の理事会が東京で行われましたが、復興の真中にある兵庫県工組の理事長がお見えになり、お礼の言葉を述べられた事を御報告致します。誠に有難うございました。本年度の本部の基本姿勢としましては、先程支部長が述べましたように、まず第一に適正利潤の確保に努めるという事で、今迄は守勢でしたが、積極的に展開して行きたいと考えています。今は大変不況の中で、市況も低迷しております。経営環境も厳しい中で、昨年从今年にかけて紙の値上げがありまして、これに對しまして組合としましては質問状を製紙協会へ出したり、或は値上げを待つて欲しいと申入れたりしましたが、状況は印刷業界にとって大変不利であります。残念乍ら阻止できない状況です。これからも組合としましては引続き製紙協会と交渉していく積りですが、視点を変えまして、この厳しい状況をお得意先にも理解して貰うよう積極的に働き掛けていく所存でございます。これが解決に繋がれば何よりだと思っております。」

ます。当支部の小山常務理事も事務用印刷委員会、この問題の改善に取組んでいます。

この問題は大変難かしくて、公取の問題もございませし、今後長期的に取組んで行きたいと思ひます。二番目には印刷業界の社会的地位の向上であります。最近は大分評価は變つて参りましたが、まだまだ業界の評価は低うございませし。内外に対しまして結束してPRを図つて行き業界の向上に努めて、その結果、優秀な人材が集まりますような業界になる事を願つていませし。次に平成7年度の主な事業としまして、まず第一は構造改善の地場産業の高度化事業推進でございませし。今大變技術が進んでいませし。特に構改では、電子化とか高付加価値化と申しております。その電子化につきまして、電子化教育にも力を入れて進めていく所存です。

二つ目には、後継者候補の育成セミナーです。これも当支部の篠倉常務理事が担当されており、昨年第一回目が行われましたが、参加者のアンケートでは、毎年続けて欲しいとの希望がありまして、今年の9月2日から、山中湖村で3泊4日の合宿セミナーの形で行われます。そのパンフレットは後日お配りする予定ですが、後継者候補の方のみならず、将来幹部候補とされる予定の方も是非、参加させて戴く事をお願い致します。第三に今年9月、全印工連の全国大会が東京で行われます。これは4年に1度、東京で開催する事になっており、今年はその当番の年ですが、7月14日に全日空ホテルで行われます。これが成功裡に開催出来ますように、

皆様方のご協力をお願い申し上げます。最後に先程、支部長も触れましたが、賦課金の見直しでございませし。これは東印工組本部も、大變財政が苦しく、経費の節減が進められておりませし。都からの助成金は本年度で終了致します。来年度からはありませし。第4次構改の高付加価値化等の新規事業の継続が実施されるのに、その財源の確保も心もとない。そういう意味でこの算定基準の見直し改定を予定していませし。

理事会で承認されましたが、来月の総代会では、ご承認戴けるよう、皆様のご理解をお願い致します。いろいろ申し上げましたが、まだ他にも事業があります。それらを滞りなく運営できますように皆様方のご協力をお願い致します。最後になりましたが、皆様方のご健勝と益々のご発展とを祈念致しまして私の挨拶と致します。有難うございました。(拍手)

続いて、中央区の葛西助役が次のように挨拶しました。

「ご紹介賜りました中央区助役の葛西です。本来なら矢田区長が挨拶するべき所ですが選挙のさ中ですので、代りに私がご挨拶致します。本日は支部の総会にお招き戴き有難うございませし。私共の区政も皆様方のご支援、ご協力のお蔭で、年々着々と前進している所です。更に一層の努力をして日本一の町を目指して努力して参りたいと思ひます。さて最近の経済は円高を初めいろいろな形のリストラ等、皆様方には大變ご苦労が多かろうと存する所です。区としましても、今年の4月予算編成の時期に当り融資制

度として融資枠を、50億から60億へと10億増加と、区としては大幅な増額を図つた訳です。こういう状況になりまして、更に一段とてこ入れが必要かなあと今考えていませし。

又、融資利率についても、公定歩合が1%という事で、0.75%下がりました、我々としましても利子補給、或いは中小企業の方々に對して現在の処は、1.95%の利率となっておりますが、それをかなり引き下げなければならぬかと、早速、対応を考えていく所存です。又4月に中小企業振興基本条例を制定致しまして、その方向に従つて、いろいろな施策を出して行こうと、新議案に計つていく予定です。更に4月1日から工団連という団体を通して各企業の発展を図つていこうと、事務局の独立を措置した所でございます。平成7年度はこれから具体的に何を求めて、区として何をやる事が各企業の発展に繋がり、区の発展に繋がるか、皆様からは是非いろいろな形のご意見を戴きまして、私共だけでは何も出来ませしので、どうぞ率直なご意見を出して戴き、中央区の印刷工業組合が益々発展する事が、本区の発展に繋がる訳ですので、どうぞ一つよろしくお願い致します。有難うございました。(拍手)

続いて中央区公団連の平林会長が次のように挨拶致しました。

「只今ご紹介いたしました中央区公団連の会長をお預りしております平林でございます。私はいつもここに立たせて戴いて思うのですが、日頃尊敬申し上げている大先輩ばかりを前に、

お話をするのは役目とはいえ、大変面映ゆい事をいつも感じるのです。しかし与えられた私の役目だけは果さなければと思ひまして務めさせて頂きます。

今年は新年早々の年賀の挨拶で、亥年だから多少は荒れるのではないかとような話をあちこちで聞かれました。多少どころではない、本当に大変でした。実は私が亥年なのですが、亥年はそんなに不幸な年ではないとみていたので、私は自分のせいではないが、そう申し上げていたのですが、私の予想はずれました。

神戸の大地震から、オウム事件、そして円高不況、等々で世の中は混乱しています。こんな時にこそ、我々の印刷業界はしっかりして日本の経済をリードして行かねばならないと思います。余談はさておき、日頃は工団連の行事その他については大変お世話になっております。有難うございます。工団連としまして中央区長選で矢田区長を推薦させて頂きましたので、宜しくお願ひします。私も今朝 8 時から各地を宣伝カーに乗って廻って参りました。大変手応えは良いようでした。あとは我々の努力で幾ら上積み出来るかという所ですので、宜しくお願ひします。それとこの工団連設立当初からの懸案でした事務局の独立が愈々出来ました。今商工課に間借りし、商工課の手助けがないと出来ませんので頑張っています。人員も 3 名揃って体制は整っています。私達の拠所ですので宜しくお願ひします。それから来年度の産業文化展に備えて、今秋から準備に入らせて戴きますので、

先程の事業報告にもございましたように、大変年々盛況を極めております。どうしてもやらねばならない事業でございます。次回も成功裡に収めたいと思ひますので、宜しく指導をお願ひします。それから宿泊研修旅行が、6 月 11・12 日とあります。これも毎年皆様から好評を得ております。それから今年は法律の改正で勉強が大変ですが、労基法の時短の研修会、又電子化の進行で技術研修会等、今迄のように職人の腕一本で何でもこなすというような時代ではないので、勉強が大事な時代に入ってきたと思ひます。改正労基法の研修会を当支部と工団連の協賛で行いますので、一人でも多く参加願ひます。本日の総会が大変円満に進行しました事も心からお慶び致します。最後に京橋支部の益々のご発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。有難うございました。(拍手)

木島監査が閉会のことばを述べて総会は終了、別室にて懇親会が開かれました。

懇親会は山崎副支部長の司会で行われ、まず荒川支部長の挨拶の後、来賓の東京都製本工業組合京橋支部・岸田支部長、中央区商工課長・齋藤宏文氏が挨拶をしました。乾杯の音頭は、京橋支部相談役の小葉氏が行って、一同乾杯の杯をあげて、歓談へと移りました。総会が予定より延びたため、7 時 30 分からの宴会は 8 時 30 分に、中締め音頭を東印工組常務理事の篠倉氏が行って、早々とお開きとなりました。

(岩本)

「長寿者の集い」開催

6 月 22 日 於・京橋会館

京橋支部で 2 年に 1 回開く、長寿者の集いが京橋会館 7 階で行われました。70 歳以上の事業主が当支部に 61 名を数え、そしてその内の 13 名の方々が当日出席されました。中島副支部長の司会で、正午に集合した一同はまず 6 階の写真室で記念撮影のあと、十文字副支部長が開会のことばを述べた後、荒川支部長が代表して、長寿者、来賓の方に出席のお礼を述べると共に、今年も「心・技・体の精神で頑張つてゆきますので、皆様もいつまでもお元気で過して下さい」と、お祝いの言葉を述べました。来賓祝辞では、中央区長、矢田美英殿、中央区工団連会長、平林智司殿がそれぞれお祝いの言葉を述べました。来賓紹介では中央厚生事業協理理事長、牧野佐武朗殿、中央区商工課長、齋藤宏文殿が紹介されました。そして長寿者を代表して、石澤幸顧問が御礼の言葉を述べた後、最高齢 95 歳になる白橋龍夫顧問の乾杯の音頭で皆さん祝杯を高々と挙げて、長寿を寿ぎました。そして会食をしながらの歓談のあと、長寿者の皆さんに、私の健康法について紹介して戴きました。その事例としては、水分補給を充分に行う、朝、体操を 10 分間行う、その日の仕事はキチンと片付けてストレスを残さない、通勤時間の車の運転、自転車に乗る、山登り、禁酒日进行等、それぞれ工夫をしておられるようでした。この後、余興としてまず平林会長から得意の浪曲三題が



吟じられました。京橋支部を代表して、文寿堂(株)、佐藤支部参与が郷里の祝唄「さんさ時雨」を朗々と披露されました。皆さんくつろがれて14時過ぎまで歓談は続きました。最後に斎藤顧問の万歳三唱の音頭で、高々と両手を挙げてこれに和して、お開きとなりました。中島副支部長の軽妙な司会により皆さん長時間にも拘らず、楽しい時間を過ごされて満足されて、おみやげを手に帰路へつきました。

(岩本)

支部の動き

- 4月3日(月)顧問・相談役・参与の会 (13時～15時) 於・支部室、支部財政について諮問
- 4月3日(月)監査会 (15時～17時) 於・支部室、木島・宇津木両監査、関根副支部長出席。
- 4月6日(木)本部支部長会 (15時～17時) 於・本部会議室、荒川支部長出席
- 4月13日(木)部長・監査・地区長会、(11時～14時) 於・支部室
- 1、支部長会報告事項
 - 。賦課金算定基準見直し・改訂に関する対応、事業者台帳未提出事業所の対応
 - 。後継者候補育成セミナーの啓蒙
 - 。平成7年度の主な事業予定
 - 。構造改善調査、取引慣行改善に関する事業、各種資格制度・検定、教育事業、雇用促進関連制度の周知(高年齢雇用継続・育児休業・介護管理改善給付金・時短促進奨励金)、各種加入促進運動、構造高度化事業(管理用ソフト、パソコンスクール、管理者用パソコン講習、電子化教育、業界イメージアップ、ファクシミリネットワークの普及他)、組合加入増強運動、各種行事(敬老の集い、永年勤続従業員表彰、印刷文化典全国大会、新春の集い)
- 2、当面する支部事業について
 - 。通常総会次第について、議事進行について

- て、次期役員選考委員の推薦について
- 。その他、「京橋の印刷」の発行4月15日予定。アウトサイダーの組合加入勧誘状況について、アルファ印刷・丹保マステ殿(入船地区)加入予定4/26
- 4月21日(金)通常総会開催(18時～20時) 於・築地スエヒロ別館8階
- 司 会
 - 中島副支部長
 - 石井副支部長
 - 荒川支部長
- 。開会のことば
- 。あいさつ
 - 議長及び副議長の選出、山口・青柳両氏
- 議 事
 - 第1号議案 平成6年度事業報告
 - 十文字副支部長
 - 第2号議案 平成6年度収支決算報告
 - 関根副支部長
 - 同 平成6年度監査報告
 - 木島・宇津木監査
 - 第3号議案 平成7年度事業計画(案)
 - 十文字副支部長
 - 第4号議案 平成7年度収支予算(案)
 - 関根副支部長
 - 第5号議案 次期役員選考委員の推薦について
 - 荒川支部長
 - その他
 - 。議長及び副議長の解任
 - 。来賓あいさつ
 - 東印工組副理事長 田島副理事長殿
 - 中央区区長 矢田美英殿
 - 中央区工団連会長 平林智司殿

来賓紹介

東製工組京橋支部長

岸田俊辰殿

中央区商工課長

斎藤宏文殿

。閉会のことは

木島 監査

懇親会（19時30分～20時30分）会費1万円 進行

円 進行

山崎副支部長

。中締 東印工組常務理事

篠倉正信殿

4月26日(水)本部理事会（15時～17時）於・印刷

健保会館

4月26日(水)京橋支部印刷人青年会総会（18時30

分～19時）於・築地スエヒロ別館、荒川支

部長出席挨拶

5月18日(木)部長・監査・地区長会、（11時～12

時）於・支部室

1、理事会報告事項について

。井上計氏を励ます会」パーティー券配

布依頼について

2、各委員会報告事項について

3、当面する支部事業について

。改正労働基準法研修会、6月8日(木)18時

銀座キャピタル新館2階にて、無料

。長寿者の集い」について、6月22日(木)

12時、京橋会館7階、会費5千円

4、その他

。次期役員推薦委員の選任について、顧問

石澤・小宮山両氏、相談役から小葉・神

林両氏、そして本部役員の田島副理事長、

小山・篠倉両常務理事、執行部から荒川

支部長、中島副支部長、山内地区長の計

10名が総会にて承認された。

。「京橋の印刷」次号は8月初旬予定。

。アウトサイダーの組合加入勧誘状況

アルファ印刷・丹保マズエ氏（入船地区）4月26日加入

。株湊町大橋印刷所・大橋繁行氏4月17日

脱退

。中央区工団連主催、宿泊研修旅行6月11

日(日)～12日(月)館山寺温泉、会費1万円。

ヤマハピアノ工場見学

。次回地区長会6月8日(木)の予定

5月20日(土)京橋製本協同組合総会（14時～16

時）於・箱根湯本温泉「ホテル河鹿荘」

5月23日(火)中央区工団連理事会（10時30分～12

時）於・中央区役所8階、各理事出席

5月24日(水)本部総代会（14時～16時）東京プリ

ンスホテル、賦課金改定案承認。

5月24日(水)中央厚生事業協組総会（17時～18

時）於・箱崎ロイヤルパークホテル、荒川

支部長他出席

6月1日(木)本部支部長会（15時～17時）於・印

刷会館4階、荒川支部長出席

6月5日(月)「井上計氏を励ます会」（18時～19

時30分）於・全日空ホテル、会費2万円

6月6日(火)中央区工団連総会（17時～19時30

分）於・中央区役所8階、荒川支部長出席、

工団連規約改定、事務局設置。

6月8日(木)部長・監査・地区長会（12時～14

時）於・支部室、支部長報告事項

1、第1四半期の事業について

。得意先への「印刷物発注に関するお願い

状」について、各組合員へ3部郵送済

。賦課金改訂のお知らせの配布

。技能検定の実施、6/21～30日、会場・

桜井グラフィックス(株)

。「パソコン体験スクール」の開催、6/

21、大塚OA研修センター

。「需要開拓討論会」の開催、6月27日(火)

全印健保会館7階、定員100名、申込14名

。第29回「敬老の集い」の新該当者調査

2、平成7年度その他の主な事業について

。後継候補者育成セミナー、9/1～9/

4、40名予定、富士青少年センター、13

名申込

。印刷文化典（全印工連）全国大会懇親会、

9/14、全日空ホテル

。事業者台帳回収の最終処理について

3、当面する支部事業について

。改正労働基準法研修会、82名参加予定

（外部25名）

。長寿者の集い」該当者13名出席予定

4、その他

。「京橋の印刷」原稿担当湊・八丁堀地区

。アウトサイダーの組合加入勧誘状況

(有)テイエムピー・三沢敏男氏6月1日加

入（入船地区）

。中央区工団連宿泊研修旅行、京橋支部か

ら25名参加

。次回地区長会7月13日予定

6月8日(木)改正労働基準法研修会（18時～20

時）、於・銀座キャピタルホテル別館2階、

72 名出席、講師 労働基準監督官・西尾玲子殿

6 月 11 日(日) 12 日(月)中央区工団連宿泊研修旅行 (8 時 30 分 17 時) 於・館山寺温泉、遠鉄 エンバイヤホテル

6 月 16 日(金)東京都火災共済代理所会議 (14 時 16 時) 於・伊豆山水葉亭、石沢厚生委員

6 月 22 日(木) 長寿者の集い (12 時 14 時 20 分) 京橋会館 7 階、該当者 13 名他 23 名出席、会費 5 千円。記念写真撮影

式次第 司 会 中島副支部長

開会のことば 十文字副支部長

あいさつ 荒川支部長

来賓祝辞 中央区長 矢田美英殿

来賓紹介 工団連会長 平林智司殿

中央厚生事業協組理事長 牧野佐武朗殿

長寿者代表あいさつ 中央区商工課長 斎藤裕文殿

京橋支部顧問 石澤 幸殿

京橋支部顧問 白橋龍夫殿

乾 杯 京橋支部顧問 斎藤喜徳殿

萬歳三唱 京橋支部顧問 斎藤喜徳殿

7 月 6 日(木)本部支部長会 (15 時 17 時) 於・印刷会館 4 階、荒川支部長出席

7 月 13 日(木)部長・監査・地区長会 (18 時 19 時) 於・新橋橋善、会費 1 万円

一、本年度第 2 四半期の事業について

。組織・総務関連
組合増強運動について

賦課金改訂に伴う各支部の支部費
事業者台帳の書式の変更について
支部主催各種印刷関連展への協賛

。教育関連
パソコン体験スクール、8 / 9、30 名

オフセット印刷知識講習、8 / 4、30 名
印刷営業マン講座、8 / 24 / 9 / 29、60 名

。労務・厚生関係
「後継候補者育成セミナー」の開催、9 月 1 日 4 日、40 名

「敬老の集い」開催、9 月 20 日 77 歳以上
全印工連設備共済制度の導入

火災共済第一次増強月間、7 / 8 月
その他、印刷文化典全国大会懇親会、9 月 14 日(木)全日空ホテル

2、当面する支部事業について
。永年勤続従業員表彰式、10 月 6 日(金)18 時、中央会館の予定、事業主負担額は、5 年 / 3 千円、10 年 / 4 千円、15 年 / 5 千円

(図書券・賞状代)、祝賀会は支部負担
3、その他

。支部報「京橋の印刷」湊・八丁堀担当
。アウトサイダーの加入勧誘状況について
加入なし

。脱退(有)大和総会印刷、鷹島義司氏(八丁堀地区) 6 月
。中央区商工団体対抗ソフトボール大会 / 7 月 23 日(日)月島グラウンド

。次回地区長会、9 月 13 日(水)12 時の予定

7 月 20 日(木)本部理事会 (15 時 17 時)、於・印刷健保会館、荒川支部長他理事出席

7 月 27 日(木)京橋電気安全協会 (11 時 30 分 12 時)、於・築地スエヒロ、岩本書記出席

7 月 27 日(木)東京地区協議会 (17 時 19 時)、於・東京プリンスホテル、荒川支部長出席

支部員の異動

加入組合員

。アルファ印刷・丹保マスエ氏、入船 3 月 2 日、ライオンズ新富(入船地区) 4 月

。有)テイエムビー・三澤敏男氏、入船 3 月 9 日、佐久間ビル(入船地区) 5 月

脱退組合員
。有)湊町大橋印刷所・大橋繁行氏(湊地区) 4 月

。有)大和総合印刷・鷹島義司氏(八丁堀地区) 6 月

社名変更
。新川地区・美研企画印刷(株)は、(株)美研と社名変更しました。

お悔やみ申し上げます

▼入船地区、文寿堂印刷(株)名誉会長、加瀬文吉殿御逝去 (4 月)

▼新富地区、日本精版印刷(株)会長、中村謹吾殿御逝去 (6 月)

▼八丁堀地区、(有)和田印刷所会長、和田栄介殿御逝去 (6 月)